

1. 3×3 行列の行列式 $|\mathbf{u} \ \mathbf{v} \ \mathbf{w}| > 0$ のとき, $\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}\}$ は \mathbb{R}^3 の右手系の基底をなすという.

(1) $|\mathbf{u} \ \mathbf{v} \ \mathbf{w}| = \langle \mathbf{u} \times \mathbf{v}, \mathbf{w} \rangle$ を示せ. また, \mathbf{u}, \mathbf{v} が一次独立であるとき, $\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{u} \times \mathbf{v}\}$ は右手系の基底をなすことを示せ.

(2) $\mathbf{e}_1 = (1, 0, 0)$, $\mathbf{e}_2 = (0, 1, 0)$, $\mathbf{e}_3 = (0, 0, 1)$ とする. $\{\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3\}$ は右手系であることを示せ. また, 正規直交基底 $\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}\}$ を回転させて $\{\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3\}$ に重ね合わせられるとき, $\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}\}$ は右手系であることを示せ.

2. 曲線 $\alpha(t) = (\cos t, \sin t, t^2/2)$ を考える.

(1) $|\alpha'(t)|$ を計算し, α が正則曲線であることを示せ.

(2) $z = (e - e^{-1})/2$ とおく. α の長さ $\int_0^z |\alpha'(t)| dt$ を, 変数変換 $t = (e^x - e^{-x})/2$ を用いて計算せよ.

3. 曲線 $\alpha(t) = \frac{1}{\sqrt{2}}(\sqrt{1+t^2}, t, \log(t + \sqrt{1+t^2}))$ を考える.

(1) $|\alpha'(t)| = 1$ を示し, 接ベクトル場 $\mathbf{T}(t)$ を求めよ.

(2) 曲率 κ を求め, $0 \leq t \leq 1$ における全曲率 $\int_0^1 \kappa(t) dt$ を計算せよ.

4. 曲率 $\kappa(t) > 0$ (定数とは限らない), 捩率 $\tau \equiv 0$ の曲線 $\alpha(t)$ を考える.

(1) Frenet-Serret の定理を使って $\mathbf{T}''(t) = \frac{\kappa'(t)}{\kappa(t)} \mathbf{T}'(t) - \kappa(t)^2 \mathbf{T}(t)$ を示せ.

(2) $[0, t]$ における全曲率 $K(t) := \int_0^t \kappa(u) du$ を考える. $\kappa(t) > 0$ より K は単調増大で, 逆関数 K^{-1} を持つ. $\mathbf{S}(t) = \mathbf{T}(K^{-1}(t))$ とおくと, $\mathbf{S}'' \equiv -\mathbf{S}$ を示せ.

(3) $\kappa(t) = \frac{1}{1+t^2}$ のとき, $\mathbf{T}(t)$ を求めよ.

(ヒント)

1. (2) $\tilde{\mathbf{u}}$ は \mathbf{u} を回転して得られる $\Leftrightarrow \det A = 1$ であるような A が存在して $\tilde{\mathbf{u}} = A\mathbf{u}$.

2. (2) 関数 $t = \sinh(x) = (e^x - e^{-x})/2$ は単調増大なので, $0 \leq t \leq z$ のとき $0 \leq x \leq 1$.

3. (2) 全曲率の計算では $t = \tan x$ とおくとよい.

4. (2) $\mathbf{T}(t) = \mathbf{S}(K(t))$ だから $\mathbf{T}'(t) = \mathbf{S}'(K(t))K'(t) = \mathbf{S}'(K(t))\kappa(t)$. $\mathbf{T}''(t)$ も $\mathbf{S}''(K(t))$ を用いて表し, (1) に代入する.